



世界日時計の日提案

World Sundial Day

2025年10月18日・日本日時計の会総会

沖 允人(おきまさと)

World Sundial Day Online Conference



スペインの日時計学者エステバン・マルティネス氏は、**毎年春分の日**に世界日時計の日の制定を提案した。

マルティネス氏が配布したものによると、「日時計は、天文学、数学、地理学といった異なる分野の融合を象徴している。

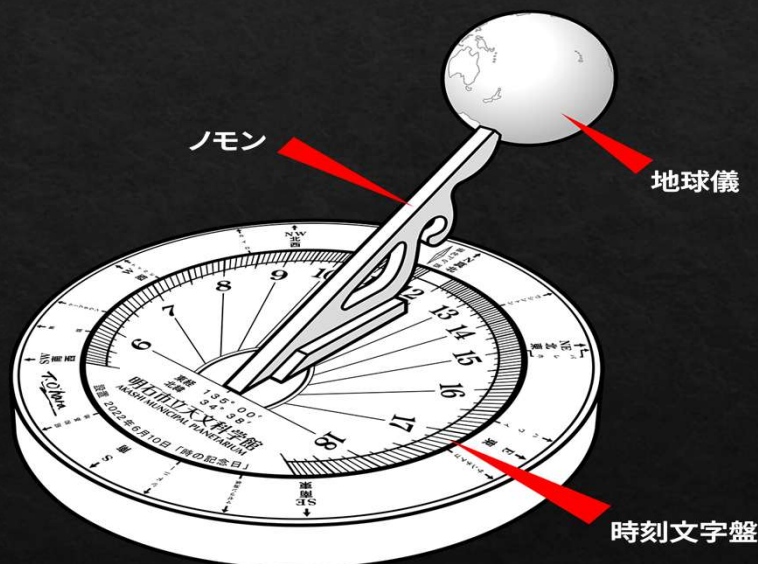
若者に天文学を教え、公共の場に設置することで、太陽と人間との関係をより深く理解できるという点で、紛れもない教育的価値を持っている。理性と創造の最大の象徴である科学と芸術を融合させている。

世界日時計の日を制定する理由

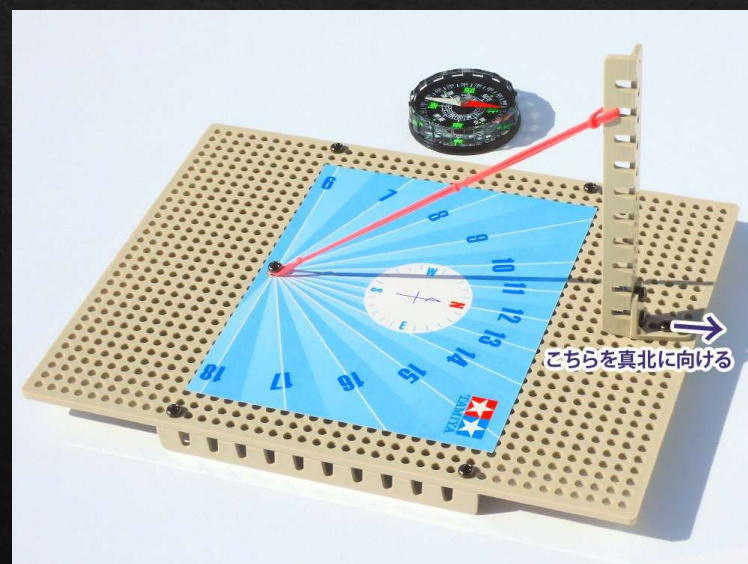
世界日時計の日を記念して、私たちは、日時計があらゆる文化において果たしてきた重要性について国民の意識を高め、世界遺産の基本的かつ差別化された要素として日時計を保護するための政治的意思と資源を活性化するための情報を国民に提供することを意図している。

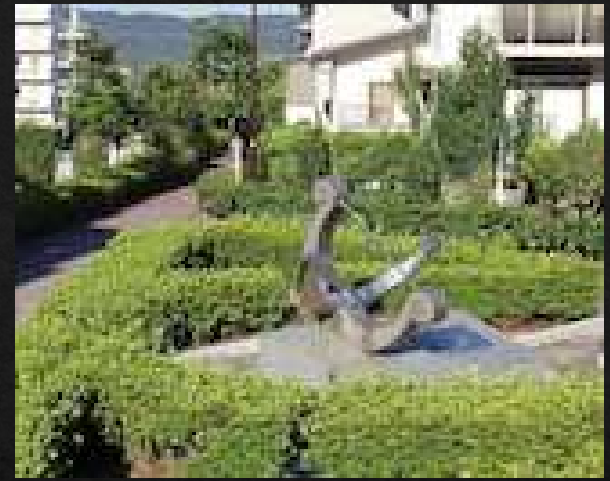
日本ではこの提案を受けられますか。

各地での日時計見学などのイベントの画



子供たちへの日時計制作教室





日本各地のいろいろな日時計「改訂増補版・日本の日時計より」



提案日：

世界日時計の日を、春分、つまり日時計の影が平面に直線を落とす最初の日に制定することを提案します。

ローマ時代から既に3月が年の始まりの月とされていたため、春分の最初の日に制定。2025・2026年の日付は3月20日でした。昼と夜の長さが同じです。